



新規インストールバージョン 6.3.0

Firepower アプライアンスをアップグレードできない（または必要なアップグレードパスを実行したくない）場合は、Firepower のメジャー リリースを新規インストールできます。特定のパッチを実行するには、バージョン 6.3.0 をインストールしてからアップグレードしてください。

- [新規インストールの決定](#) (1 ページ)
- [新規インストールに関するガイドラインと制約事項](#) (3 ページ)
- [スマート ライセンスの登録解除](#) (6 ページ)
- [インストール手順, on page 8](#)

新規インストールの決定

次の表を使用して、新規インストール（再イメージ化とも呼ばれます）する必要がある場合のシナリオを特定します。これらのすべてのシナリオ（ローカルとリモート間のデバイス管理の切り替えを含む）では、デバイス設定が失われます。



-
- (注) 管理の再イメージ化または切り替えを行う前に、ライセンスの問題に対処してください。Cisco Smart Licensing を使用している場合は、孤立した権限付与の発生を防ぐために、Cisco Smart Software Manager (CSSM) から手動で登録解除することが必要になる場合があります。これらが生じると再登録できない場合があります。
-

表 1: シナリオ : 新規インストールが必要ですか。

シナリオ	ソリューション	ライセンスング
FMCで管理されているデバイスをより古い Firepowerバージョンからアップグレードします。	古いバージョンからのアップグレードパスには中間バージョンが含まれる場合があります。特に、FMCとデバイスのアップグレードを交互に行う必要がある大規模展開の環境では、この複数の手順のプロセスを完了するために時間がかかる場合があります。 この時間を短縮するために、アップグレードする代わりに、古いデバイスを再イメージ化することができます。 1. FMCからデバイスを削除します。 2. FMCのみをターゲットバージョンにアップグレードします。 3. デバイスを再イメージ化します。 バージョン5.xを実行している7000/8000シリーズデバイスのイメージを再作成する必要がある場合は、「 新規インストールに関するガイドラインと制約事項 (3 ページ) 」を参照してください。 4. デバイスをFMCに再度追加します。	FMCからデバイスを削除すると、デバイスが登録解除されます。デバイスを再度追加した後、ライセンスを再割り当てします。
FTD管理をFDMからFMC（ローカルからリモート）に変更します。	configure manager CLI コマンドを使用します。 『 Command Reference for Firepower Threat Defense 』を参照してください。	管理を切り替える前に、デバイスを登録解除します。デバイスをFMCに追加した後、ライセンスを再割り当てします。
FTD管理をFMCからFDM（リモートからローカル）に変更します。	configure manager CLI コマンドを使用します。 『 Command Reference for Firepower Threat Defense 』を参照してください。 例外：デバイスが実行中であるか、バージョン6.0.1からアップグレードされています。この場合は、再イメージ化します。	FMCからデバイスを削除し、デバイスを登録解除します。FDMを使用して再登録します。
ASDMとFMC間のASA FirePOWER管理を変更します。	他の管理方法の使用を開始します。	クラシックライセンスについては、セールス担当者にお問い合わせください。ASA FirePOWERライセンスは、特定のマネージャに関連付けられています。

シナリオ	ソリューション	ライセンスング
ASA FirePOWER を同じ物理デバイス上の FTD に置き替えます。	再イメージ化します。	クラシック ライセンスをスマート ライセンスに変換します。『 Firepower Management Center Configuration Guide 』を参照してください。
NGIPSv を FTDv に置き換えます。	再イメージ化します。	新しいスマート ライセンスについては、セールス担当者にお問い合わせください。
FDM を使用した FTD パッチをアンインストールします。	再イメージ化します。 FDM 展開環境では、パッチをアンインストールすることはできません。	再イメージ化する前に、デバイスを登録解除します。その後、再登録します。
障害が発生した FMC または FTD デバイスをバックアップから復元します。	RMA のシナリオでは、工場出荷時の初期状態の設定での交換になります。ただし、交換がすでに設定されている場合は、復元する前に再イメージ化することをお勧めします。	再イメージ化を行う前に登録を解除しないでください。また、FMC からデバイスを削除しないでください。これを行った場合は、復元後に再度登録を解除してから再登録する必要があります。 代わりに、バックアップを実行した後に行われたライセンス変更を元に戻します。復元が完了したら、ライセンスを再設定します。ライセンスの競合や孤立した権限付与に気付いた場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

新規インストールに関するガイドラインと制約事項

誤りを避けるには、注意深い計画と準備が役立ちます。Firepower リリースに精通していて、Firepower アプライアンスを再イメージ化したことがある場合でも、これらのガイドラインと制限事項に加えて、「[インストール手順 \(8 ページ\)](#)」にリンクされている手順を必ず参照してください。

イベントデータと設定データのバックアップ

サポートされている場合は、再イメージ化の前にバックアップすることを強くお勧めします。



(注) 再イメージ化してアップグレードする必要がない場合、バージョンの制約により、バックアップを使用して古い設定をインポートすることはできません。設定は手動で再作成する必要があります。

安全なリモートロケーションにバックアップし、正常に転送が行われることを確認する必要があります。再イメージ化によって、システムパスワードを含むほとんどの設定が工場出荷時の初期状態に戻ります。アプライアンスに残っているすべてのバックアップが削除されます。特に、バックアップファイルは暗号化されていないため、不正アクセスを許可しないでください。バックアップファイルが変更されていると、復元プロセスは失敗します。

バックアップの最初のステップとして、アプライアンスモデルとバージョンを、パッチレベルを含めて書き留めておいてください。FMC の場合は、VDB のバージョンを書き留めておきます。Firepower 4100/9300 シャーシの場合は、FXOS のバージョンを書き留めておきます。新しいアプライアンスや再イメージ化したアプライアンスにバックアップを復元する必要がある場合は、新しいアプライアンスを最初に更新する必要がある場合があるため、これは重要です。



(注) バックアップと復元は、複雑なプロセスになる可能性があります。手順をスキップしたり、セキュリティ上の問題を無視しないでください。誤りを避けるには、注意深い計画と準備が役立ちます。バックアップと復元の要件、ガイドライン、制限事項、およびベストプラクティスの詳細については、ご使用の Firepower 製品のコンフィギュレーションガイドを参照してください。

からのデバイスの削除 Firepower Management Center

再イメージ化されたアプライアンスを手動で設定する予定がある場合は、再イメージ化する前に、リモート管理からデバイスを削除します。

- FMC を再イメージ化する場合は、すべてのデバイスを管理から削除します。
- 単一のデバイスを再イメージ化するか、またはリモートからローカルでの管理に切り替える場合は、その単一のデバイスを削除します。

FMC または FTD デバイスの再イメージ化後にバックアップから復元する場合は、デバイスをリモート管理から削除する必要はありません。

ライセンスの問題の対処

Firepower アプライアンスを再イメージ化する前に、ライセンスの問題に対処してください。状況により、Cisco Smart Software Manager からの登録解除が必要になります。また場合によっては、新しいライセンスについてセールス担当者にお問い合わせする必要があります。シナリオに応じて必要な操作を決定するには、「[新規インストールの決定](#)」を参照してください。

ライセンスの詳細については、次を参照してください。

- [Cisco Firepower System Feature Licenses Guide](#)
- [Frequently Asked Questions \(FAQ\) about Firepower Licensing](#)
- 設定ガイドのライセンスの章

アプライアンス アクセス

再イメージ化により、ほとんどの設定が工場出荷時の初期状態に戻ります。

アプライアンスに物理的にアクセスできない場合、再イメージ化プロセスによって管理ネットワークの設定を維持できます。これにより、再イメージ化した後、アプライアンスに接続して、初期設定を実行できます。ネットワーク設定を削除する場合は、アプライアンスに物理的にアクセスできる必要があります。Lights-Out 管理 (LOM) を使用することはできません。



(注) 以前のメジャーバージョンに再イメージ化すると、ネットワーク設定が自動的に削除されます。このようなまれなケースでは、物理的アクセスが必要です。

デバイスに関して、ユーザの位置からのトラフィックがデバイスの管理インターフェイスにアクセスするためにデバイス自体を通過する必要がないことを確認してください。FMC 展開では、デバイスを経由せずに FMC 管理インターフェイスにアクセスできる必要もあります。

シスコとのデータの共有

一部の機能にシスコとのデータ共有が含まれます。

バージョン 6.2.3+ では、Cisco Success Network は、テクニカルサポートを提供するために不可欠な使用状況に関する情報と統計情報をシスコに送信します。初期設定中に、参加を承諾するか、辞退するかを尋ねられます。また、いつでもオプトインまたはオプトアウトできます。

バージョン 6.2.3+ では、Web 分析のトラッキングは、これに限定されませんが、ページでの操作、ブラウザのバージョン、製品のバージョン、ユーザの場所、FMC の管理 IP アドレスまたはホスト名を含む、個人を特定できない使用状況データをシスコに送信します。Web 分析トラッキングはデフォルトでオンになっていますただし、初期設定の完了後にいつでもオプトアウトできます。また、この機能を再度有効にする可能性があるメジャーアップグレード後は、もう一度オプトアウトする必要があります。

以前のメジャーバージョンへの Firepower 2100 シリーズ デバイスの再イメージ化

Firepower 2100 シリーズ デバイスを以前のメジャーバージョンに戻す必要がある場合は、完全な再イメージ化を実行することをお勧めします。消去設定方式を使用すると、Firepower Threat Defense ソフトウェアに加えて、FXOS が復元しない場合があります。この場合、特にハイアベイラビリティ展開では、障害が発生する可能性があります。

詳細については、Cisco FXOS [トラブルシューティング ガイド \(Firepower Threat Defense を実行している Firepower 1000/2100 シリーズ向け\)](#) に記載されている再イメージ化の手順を参照してください。

バージョン 6.3.0 以降へのバージョン 5.x ハードウェアの再イメージ化

バージョン 6.3+ のインストールパッケージの名前が変更されていると、古い物理アプライアンス (FMC 750、1500、2000、3500、4000 のほか、7000/8000 シリーズデバイスと AMP モデル) の再イメージ化に関する問題が発生します。バージョン 5.x を現在実行していて、バージョン 6.3.0 を新規にインストールする必要がある場合は、インストールパッケージをダウンロード

ドした後、その名前を「古い」名前に変更します。『Cisco Firepower Release Notes, Version 6.3.0』の「Renamed Upgrade and Installation Packages」の情報を参照してください。

FMC (Defense Center) をバージョン 5.x からより新しいバージョンに再イメージ化した後、古いデバイスを管理することはできません。また、これらのデバイスを再イメージ化してから、FMC に再度追加する必要があります。シリーズ 2 デバイスは EOL であり、Firepower ソフトウェアの過去バージョン 5.4.0.x を実行できないことに注意してください。それらのデバイスを置き換える必要があります。

スマート ライセンスの登録解除

Firepower Threat Defense デバイスは、ローカル (Firepower Device Manager) またはリモート (Firepower Management Center) で管理されているかどうかに関係なく、Cisco Smart Licensing を使用します。ライセンス供与された機能を使用するには、Cisco Smart Software Manager (CSSM) で登録する必要があります。後で再イメージ化または管理の切り替えを行うことにした場合は、孤立した権限付与を発生させないように登録を解除する必要があります。これらが生じると再登録できない場合があります。



(注) FMC または FTD デバイスをバックアップから復元する必要がある場合は、再イメージ化の前に登録を解除しないでください。また、FMC からデバイスを削除しないでください。代わりに、バックアップを実行した後に行われたライセンス変更を元に戻します。復元が完了したら、ライセンスを再設定します。ライセンスの競合や孤立した権限付与に気付いた場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

登録を解除すると、仮想アカウントからアプライアンスが削除され、関連付けられたライセンスが解放されるため、ライセンスを再割り当てできるようになります。アプライアンスを登録解除すると、適用モードになります。アプライアンスの現在の設定とポリシーはそのまま機能しますが、変更を加えたり展開したりすることはできません。

次の操作を行う前に、CSSM から手動で登録解除します。

- FTD デバイスを管理する Firepower Management Center を再イメージ化する。
- FDM によってローカルで管理されている Firepower Threat Defense デバイスを再イメージ化する。
- Firepower Threat Defense デバイスを FDM から FMC 管理に切り替える。

FMC からデバイスを削除すると、CSSM から自動的に登録解除されます。これにより、次のことが可能になります。

- FMC によって管理されている Firepower Threat Defense デバイスを再イメージ化する。
- Firepower Threat Defense デバイスを FMC から FDM 管理に切り替える。

上記の2つのケースでは、FMC からデバイスを削除すると、デバイスが自動的に登録解除されます。FMC からデバイスを削除すれば、手動で登録解除する必要はありません。



ヒント NGIPS デバイスのクラシック ライセンスは、特定のマネージャ（ASDM/FMC）に関連付けられており、CSSMを使用して制御されません。クラシックデバイスの管理を切り替える場合、または NGIPS 展開から FTD 展開に移行する場合は、セールス担当者にお問い合わせください。

の登録解除 Firepower Management Center

バックアップから復元する予定がない限り、再イメージ化する前に CSSM から Firepower Management Center の登録を解除してください。これは、管理対象の Firepower Threat Defense デバイスの登録も解除します。

FMCが高可用性に設定されている場合、ライセンスの変更が自動的に同期されます。他のFMCの登録を解除する必要はありません。

ステップ 1 Firepower Management Center にログインします。

ステップ 2 [システム (System)] > [ライセンス (Licenses)] > [スマートライセンス (Smart Licenses)] を選択します。

ステップ 3 [スマートライセンスのステータス (Smart License Status)] の横の停止記号 をクリックします。

ステップ 4 警告を読み、登録解除することを確認します。

を使用した FTD デバイスの登録解除 FDM

再イメージ化するか、またはリモート (FMC) 管理に切り替える前に、ローカルの管理対象 Firepower Threat Defense デバイスの登録を Cisco Smart Software Manager から解除します。

高可用性のために設定されているデバイスの場合は、その装置を登録解除するために、高可用性ペアにあるその他の装置にログインする必要があります。

ステップ 1 Firepower Device Manager にログインします。

ステップ 2 [デバイス (Device)] をクリックし、[スマートライセンス (Smart License)] のサマリーで [設定の表示 (View Configuration)] をクリックします。

ステップ 3 歯車ドロップダウンリストから [デバイスの登録解除 (Unregister Device)] を選択します。

ステップ 4 警告し、登録を解除することを確認します。

インストール手順

リリースノートとアップグレードガイドにはインストール手順は含まれていません。代わりに、次のドキュメントのいずれかを参照してください。インストールパッケージはシスコサポートおよびダウンロードサイトから入手できます。

Table 2: Firepower Management Center のインストール手順

FMC プラットフォーム	ガイド
FMC 1600、2600、4600	Cisco Firepower Management Center 1600, 2600, and 4600 Hardware Installation Guide : Restoring a Firepower Management Center to Factory Defaults
FMC 1000、2500、4500	Cisco Firepower Management Center 1000, 2500, and 4500 Getting Started Guide : Restoring a Firepower Management Center to Factory Defaults
FMC 750、1500、3500 FMC 2000、4000	Cisco Firepower Management Center 750, 1500, 2000, 3500 and 4000 Getting Started Guide : Restoring a Firepower Management Center to Factory Defaults
FMCv	『 Cisco Firepower Management Center Virtual 入門ガイド 』

Table 3: Firepower Threat Defense のインストール手順

FTD プラットフォーム	ガイド
Firepower 2100 シリーズ	Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide Cisco FXOS トラブルシューティング ガイド (Firepower Threat Defense を実行している Firepower 1000/2100 シリーズ向け)
Firepower 4100/9300 シャーシ	Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Configuration Guides : イメージ管理に関する章 Cisco Firepower 4100 スタートアップガイド Cisco Firepower 9300 Getting Started Guide
ASA 5500-X シリーズ	Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide
ISA 3000	Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide
FTDv: VMware	VMware 向け Cisco Firepower Threat Defense Virtual スタートアップガイド
FTDv: KVM	Cisco Firepower Threat Defense Virtual for KVM スタートアップガイド

FTD プラットフォーム	ガイド
FTDv : AWS	Cisco Firepower Threat Defense Virtual for the AWS Cloud スタートアップガイド
FTDv : Azure	Cisco Firepower Threat Defense Virtual for the Microsoft Azure Cloud Quick Start Guide

Table 4: FirePOWER 7000/8000 シリーズ、NGIPSv および ASA FirePOWER インストール手順

NGIPS プラットフォーム	ガイド
Firepower 7000 シリーズ	Cisco Firepower 7000 Series Getting Started Guide : Restoring a Device to Factory Defaults
Firepower 8000 シリーズ	Cisco Firepower 8000 Series Getting Started Guide : Restoring a Device to Factory Defaults
NGIPSv	Cisco Firepower NGIPSv (VMware 向け) クイックスタート
ASA FirePOWER	Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide ASDM Book 2: Cisco ASA Series Firewall ASDM Configuration Guide : Managing the ASA FirePOWER Module

